

## 目に見えない地下水汚染のデータ蓄積を

■介護人材の確保が課題。実態は？→採用が離職を上回っていると確認。一方定着せず人材の流動が厳しいことも把握。運営協議会でもご意見を多くいただく。重要な課題と受け止め施策について検討する■介護職員の負担軽減のため、老健に介護機器を導入。効果は？→4月から移乗支援ロボットを導入。職員からは腰の負担が軽減されたなど好意的。利用者やご家族から同意いただけない場合は使用しない■国は現場のデータを集め分析し、効果あるサービスを普及させる方針。一見効率的でよさそうだが、介護保険制度の理念「個人の尊厳の保持」と異なる方向に向かうことを危惧する→理念を大切に事

業者の声を把握しながら研究する■事業者同士の情報交換の場を→介護福祉施設の管理者による連絡会立ち上げの声がある。共通する課題の意見交換の場として期待■高齢の方から「長く歩けない、バス停までが大変」との声を聞く。ベンチを置く家を見かけるが、ひと休みできると自分の足で歩ける範囲が広がり、コミュニケーションも広がる。ベンチのあるまちづくりを。→市民ニーズを把握し、他自治体の取組など情報収集する。住みやすい環境整備、まちづくりを進めるため庁内関係部署との連携を図る■地下水の有機フッ素化合物の問題は残念で悔しい。「むかしの井戸」の水質調査、湧水池の水量及び

国分寺・生活者ネットワーク  
高瀬 かおる



地下水位の測定を継続し、水質・水量両面からデータの蓄積を。また周辺自治体に水質調査を呼びかけ、専門家の見解を聞くなど実態把握を→今後も経年変化を確認する。井戸の調査結果は有効なデータ。周辺自治体とも連携しデータを共有する■都は失語症者向け意思疎通支援者の養成講習会を実施。ニーズの把握、支援の拡充を→周囲が失語症の困難に気づくこと、その方に合う支援を自身で選択できる体制が必要。情報収集し研究を進める■他に空き家・空き店舗の活用、死者に関する情報の取扱を質疑。

## PFAS問題の対策強化 プラごみ有料化ストップ

《PFAS地下水汚染への対策強化を》

問) 国分寺市民の血中PFAS濃度が高いことが明らかになり市民に不安が広がっている。対策強化として、民間井戸も含めた検査、市民への血液検査、PFASの値が高い北町水源井戸の取水停止を東京都に求めるべき。

答) PFASによる身体への影響や健康被害は不明。国の専門家会議において、総合的な対応などを検討中。その結果を待って適正に対応する。※すぐに動かない行政の対応が市民の不安を大きくしている。市が積極的な対策強化を

《学校給食無償化》

問) 学校給食無償化の意義や必要性の認識は。

答) 教育長会で無償化に向けた補助制度の創設を都に要望する方向。

※他市で実施している第3子以降の無償化など一部無償化の検討を求めた。

《プラごみの有料化はストップを》

問) プラごみ減量のための有料化というが、市民が減量することができる具体策は何か。

答) 食品トレーなどのリサイクル協力店にさらなる協力をお願いする。

※具体的な減量策がない。市民に有料化の負担を押し付けるだけ。有料化は一度ストップを。

その他、物価高騰対策、中学校給食の改善、シルバーの最低賃金確保など求めた。

無会派(日本共産党国分寺市議団)  
中山 こう



住民のPFAS血液検査の結果(一部抜粋)

	人数	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	PFOS+PFOA	4PFAS合計
国分寺市	84	16.7	6.5	17.7	4.1	23.2	45.0
国立市	62	10.4	3.6	5.4	3.2	14.0	22.6
昭島市	50	9.7	3.2	2.5	3.1	13.0	18.6
立川市	47	14.2	4.7	4.7	5.0	19.0	28.6
府中市	47	10.5	3.4	6.7	3.3	13.9	23.9
武蔵村山市	40	9.5	3.3	1.8	3.5	12.8	18.1
日野市	33	8.2	2.6	1.5	3.2	10.8	15.6
西東京市	29	10.7	2.7	1.7	3.1	13.4	18.2
小平市	28	9.7	4.1	5.7	3.1	13.8	22.6
福生市	24	9.0	3.3	2.7	3.1	12.3	18.0
武蔵野市	23	11.8	4.0	6.9	4.4	15.8	27.2
羽村市	23	8.4	3.1	1.8	3.3	11.5	16.7
小金井市	22	9.0	3.2	4.1	3.2	12.2	19.4
調布市	21	10.2	4.0	3.9	3.8	14.2	21.9
環境省2021年調査	119	3.9	2.2	1.0	1.6		

多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会の発表資料より作成 値はng/l(平均値)

## 人と環境にやさしい「グリーンな国分寺」を

①ゼロカーボンシティの実現へ

Q. 温暖化が加速する近年、すべての人にとって気候危機問題は最重要テーマ。市はCO<sub>2</sub>削減目標を60%に引き上げて、新庁舎の再エネ化をはじめ、あらゆる対策を急いでほしい。

無作為抽出の「気候市民会議」の開催で、市民とともにエコでフェアなまちづくりを!

A. 費用面の課題はあるが、新庁舎の再エネ導入、気候市民会議の具体的な方法も研究する。

②PFAS汚染に早期対策を

Q. 水は生存につながる公共財=コモンズ。希望者に無料で血液検査、水道水や土壌の検査、長期的な健康調査を。不安を抱える市民に寄り

そった対応を。国や都の動きを待つより、汚染被害の大きい国分寺市が率先して行動を。

A. 市民の懸念は認識しているが、市の水道水は安全だ。今後の対策は国の検討結果次第。

③あたたかい中学校給食へ

Q. あたたかい弁当給食の実現を求める市民の声が大きい。他の自治体ではあたたかい給食がほとんど。義務教育として格差があることは問題では。弁当方式ではできないアレルギー対応も必要。「食育の指針」を作り、それに沿った給食方針を検討すべき。未来の子どもたちのためにも今アクションしてほしい。

A. 食育の指針はないが、食育活動はやってい

無会派(グリーンな国分寺)  
鈴木 ちひろ



る。自校方式、親子方式は課題が多い。

④入管法「改悪」と人権問題

Q. 難民受け入れが最も厳しい日本の地域で生活する当事者に、当たり前な公共サービスを。在留資格がなくても、医療や教育を受ける権利=人権がある。より一層、「多文化共生」の地域社会のあり方を模索してほしい。

A. 在留資格がない人でもコロナワクチン接種や無料低額診療医療が受けられる。国分寺市には「すべての人を大切にすまち宣言」があり、共生社会の実現を目指していく。

## 民間事業者の誘致 夏休みの宿題の見直し

■民間事業者の誘致について

(ホテル、宴席場、映画、劇場、音楽堂、シェアオフィス、温浴施設等)

尾沢：今後、国分寺駅周辺はもとより、西国分寺駅や恋ヶ窪駅周辺にて再開発や新たなまちづくりが行われる。市民ニーズの高い事業や地域の活性化に寄与する事業等について、固定資産税、都市計画税の減免等を行うことで民間事業者を誘致する取り組みを早急におこなう必要があると考えます。

答弁：民間事業者の誘致は地域産業の活性化など、市全体の底上げについて期待できる。誘致する民間事業者の業種や付与するインセンティ

ブの内容を検証し、先進事例の効果等を分析して誘致の手法について検討してまいります。

■夏休みの宿題の見直し

尾沢：子どもたちにとって、夏休みは日常では出来ないことを体験したり、家族との触れ合いの時間を持ったりする絶好の機会です。しかしながら、市民から「親が手伝う内容が多い」「学校と塾の2つの宿題をこなすのは大変」「本当に意味がある内容なのかかわからない」といった声が届いています。そういった声を受けて他市では夏休みの宿題を廃止した学校もあり、保護者からも好意的に受け止められているとのこと。画一的な夏休みの宿題の出し方を改め、

自由民主党国分寺  
尾沢 しゅう



現代における家庭、児童・生徒の状況や教員の働き方改革に沿うような夏休みの宿題の見直しを行っていただくよう要望します。

教育長：御指摘の様々な課題を十分に受け止めて、学校と共に夏休みの意義について改めて確認をおこない、夏休みの宿題の目的を踏まえながら児童・生徒の主体性を高める夏休みの宿題の在り方について考えていきたい。

その他の質疑：FabLab(3Dプリンター等の整備等について)、GXグリーン・トランスフォーメーション、公園の遊具について質問しました。